

学校だより

翔 空

No. 42 平成25年 2月 5日(火)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

【名言・格言 第5弾】

今回紹介する名言は、夏目漱石の『草枕』の冒頭の言葉です。名文の一つですから、一度は聞いたことがあるはずです。

山路を登りながら、
こう考えた。
智に働けば角が立つ。
情に棹させば流される。
意地を通せば窮屈だ。
兎角に人の世は住みにくい。

ちなみに、『草枕』を読んだことのない方も冒頭の「智に働けば」以降の4つのフレーズにはなじみがあるでしょう。

「いろいろ住みにくい世の中だけれど、そのなかでやっていくしかない」というところで、だいたいの人は、「ふむふむ、そうなんだよね」と感じ入るところがあると思います。そういう意味でも、この4つのフレーズだけでも暗誦しておいて、何かうまくいかない、おもしろくないことがあったときなどにつぶやいてみる。そうすると、妙に気持ちが落ち着いてくるのではないかと思います。

三寒四温というにふさわしい季節に入ってきました。昨日は、立春。暦の上でも一步一步と春が近づいてきています。

もう一つの話ですが、3年生の卒業式に向けた練習が本格化してきています。(礼法・返事)

「会津教学って知ってますか」 ～人の心は目に見えません～

NHK「八重の桜」が放映開始されてすでに1ヶ月が経過しました。視聴率も順調のようです。最近、会津教学に関する本を読む機会があり、最も、会津教学に関する本を讀む機会があり、保科正之の国体に対する信念と君臣の大義とが彼の偉大な人格を通して融合統一されたものであると聞いています。

今回は、会津教学に関連して、ごく身近な話題「掃除」を取り上げてみたいと思います。「なぜ掃除をするのかわかる人はいますか。」に対しては、「汚れたところはいやだから。」「きれいにするのと気持ちがよいから。」等々の答えが出てくるでしょう。しかし、毎日掃除をすることで次の3つの効果が現れます。

- 掃除をしている人の心が清らかになります。
- 掃除をして美しくなっているところを見ると、他の人の心も清らかになります。
- 掃除をすれば気持ちがよいので、他の人も掃除をしようとするようになります。

毎日のお掃除。学校においては、日程など関係で15分程度のそうじが多いのですが、校舎をきれいにしていればとてもすがすがしい感じがします。ちなみに校長室の2人は黙々といつも丁寧に掃除に取り組んでいます。(公輔君と百花さん)会津教学の精神によれば、「目に見えない自分の心をきれいにし、やさしくて強くするためには、目に見えるところをきれいにすることが大事です。他の人がいやがるような汚れているところをきれいにすれば、それだけでその人の心もきれいにすることができるのです。」

かの有名な松下幸之助氏(松下電器～現パナソニックの創始者)は、「汚れている場所を掃除してきれいになればするほど、自分の心も清められ、人間ができていく。」とある本の中で書いています。

昔から、「掃除も満足に出来ない者は仕事もできない」と言われてきました。商売人や職人の間では、「仕事は掃除に始まり掃除に終わる」とさえ言われ、掃除がきちんとできるよいうになって初めて一人前と認められるのです。現状でもまあまあ悪くはない本校の清掃状況ですが、もう一歩進んでくれたらなあと思う今日この頃です。

